

サポートファイル

ほろっと

平成31年3月発行



フリガナ

名 前

はじめに

育ちと学びのサポートファイル「ほろっと」は、行動や発達において不安や心配な面のある子どもを支援するためのツールとして作成しました。

当ファイルの作成にあたっては、福井県の「子育てファイルふっくいっ子」を参考にし、子どもの特徴を客観的・総合的に把握し、一人ひとりに合った支援につなげるようにしております。

子どもの成長に伴うライフステージの移行の際に、このファイルを活用し、子どもの状況や支援内容を引き継ぐことで、子どもに切れ目のない支援を行うことができるようになっています。

士幌町では、本ファイルが特別な教育的支援を必要とする子どもに関わる多くの支援者に活用され、就学から就労までの継続した支援が適切に行われることを期待しています。

そして、地域の未来を担う子どもたちが、皆、地域の中で生き生きと暮らし、健やかに育っていくことを願っています。

平成31年3月 士幌町

も く じ

はじめに	1
ファイルの使い方	3
ファイルの標準運用例	4
基礎調査票および評価シートの使い方	6
基礎調査票および評価シートの特徴	7
ファイルおよび基礎調査票使用上の注意事項	7
■プロフィール編	
プロフィールシート	9
出生時の記録	10
診断の記録、特に気がかりな病気や疾病の状況、月経	11
保存しておく必要のある薬の記録	12
福祉サービス利用の記録、その他関係機関	13
諸手当、年金など、資格、免許など、障害者手帳など	14
受診歴、相談歴	15
保育・教育歴	16
■支援・引継編	
基礎調査票、評価シートおよび発達状況シート	
1歳6か月児用	18
3歳児用	23
幼児期用	29
学齢期用	36
青年・成人用	43
個別の支援計画シート(こども園保育所(園)用)	50
引き継ぎシート	52
個別の指導(支援)計画シート(小・中学校用)	53
引き継ぎのためのサマリーシート(小・中学校用)	56
個別の指導(支援)計画(高等学校用)	57
■参考資料	
プロフィール編 記入の手引き	60
プロフィール編 記入例	62
発達状況シート、支援・引継編記入方法	70
支援・引継編 記入例	71
個人情報提供同意書	80

ファイルの使い方

◆本ファイルは、行動や発達において気になる面がある子ども、何らかの支援を必要とする子どもを対象にお使いください。

◆気になる特性があると気付いて、支援が必要と感じたときが、本ファイルを使い始めるときです。どの段階からでもお使いいただけます。

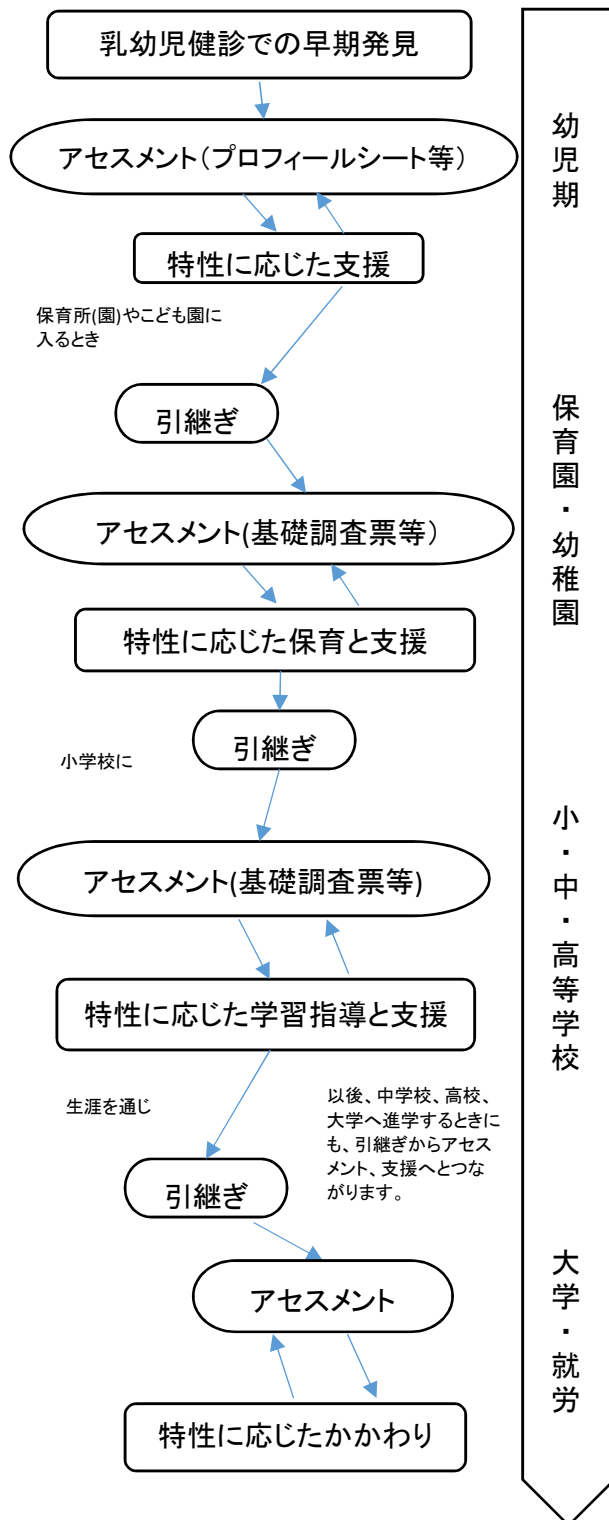
1.最初に子どもの基本的なプロフィールシート、基礎調査票および評価シートを記入しその子の特性の把握(=アセスメント)を行います。プロフィールシートについては、その都度把握できる範囲で記入しても構いません。基礎調査票および評価シートについては、必ずその子の年齢に応じた基礎調査票を使用します。(基礎調査票および評価シートの使い方は別記)

2.次に、結果を発達状況シートにまとめ、それをもとに、その子どもの特性に応じた支援を検討し、個別の支援計画シートまたは個別の指導(支援)計画シートを作成します。それを支援にかかわる人たち(保護者含め)で共有し、日頃の生活の中での支援を行っていきます。支援開始後、一定期間が経過したら支援計画の実施状況についてモニタリングを行い、支援計画の見直しなどを行いながら発達に応じた支援を続けていきます。

3.その子の卒園・卒業等によって関わる機関が変わるときには、次の機関にその子どもの状況やこれまでの支援を引き継ぐため、ファイルを利用し次の機関へ引き継ぎます。
(個人情報の保護に注意、特に情報の漏えい防止に十分注意する)

このように、特性を把握しながらそれに応じた支援を行い、関わる機関が変わるときには特性やこれまでの支援を着実に引き継ぐことに本ファイルを活用してください。

●当ファイルを活用した支援のイメージ(例)
(支援が必要と気付いたら、どの段階からでも使えます)



ファイルの標準運用例

●ファイル運用者(町関係機関)の方へ

- ・当ファイルは、福井県発達障害児者支援センターのご厚意により福井県標準様式を参考に作成されています。
- ・支援を要する児童ごとにファイルを作成する際は、この様式で印刷したものを使用していただくことになります。
- ・各成長の段階ごとに児童に関わるそれぞれの関係機関において、この後の記載のように使われるように、ファイル形式やファイル導入・運用・管理にかかる事務的なルールの検討、支援機関連携の仕組みの構築等を行うことにより、円滑かつ適切な運用をお願いいたします。

●ファイル管理者(各関係機関【こども発達相談センター、保育所(園)、こども園、学校など】の方へ

ファイルの原本の保管は、その時点で児童に関わっている支援機関が行います。

■導入

- ・何らかの支援が必要と認められたときに、支援の対象となる児童について、個人ファイルを作成します。

〈例〉

- ・乳幼児健診で要観察となり、事後の2歳児教室、パンダちゃん教室に通うようなとき

- ・こども園、保育所(園)での様子が気がかりなとき

- ・学校で「文字を書く」「計算をする」といった特定の学習を苦手としているとき等

○支援を検討するため、まず、基礎調査票および評価シートをつけることから始めましょう。アセスメントの結果、何らかの支援が必要と認められた場合には、個人用のファイルを作成します。それと同時に、可能な限り保護者の方と児童の状況について話し合いをし、理解を得るような働きかけを検討しましょう。

○保護者の方の理解が得られている場合は、ファイルの記載済ページの写しを保護者に渡し、綴って保管するようお伝えしてください。できれば、導入時において初めて保護者の方にファイルの写しを渡す際には、記入部分の写しをファイリングできる状態(表紙裏表紙をつける等)で渡してください、このことで着実に保護者のファイリングが促され、情報の共有がしやすくなります。

※このファイルを使う土幌町の保育所(園)、こども園、各小・中学校及び高等学校においては以下の本の購入をおすすめします。

黒澤礼子 著「赤ちゃんから大人まで気づいて、育てる発達障害の完全ガイド
総合版」講談社

■ 支援への活用

・評価シートの結果から、発達状況シートを記入し、発達状況に合わせた個別支援計画を検討します。個別支援計画の作成には、必要に応じて、こども発達相談センター発達支援担当者、特別支援教育コーディネーター等からアドバイスを受けることができます。また、可能であれば保護者の意見も取り入れましょう。

その後は、個別支援計画に沿って日常の保育や学習指導の中で支援を実施していきます。定期的に個別支援計画の進捗状況を確認しながら、アセスメント（検査等）および個別支援計画の見直しをしていきましょう。

基礎調査票および評価シート→発達状況シート→個別支援計画シートは、繰り返し作成するので、その都度様式をコピーし、記載したものを個人ファイルに差込んでファイリングしていきます。あわせて、保護者の理解を得ている児童に関しては、保護者にも写しを渡し、同様にファイルしてもらうようにします。

・ファイルは、個人用ファイルとしてファイリングされている紙媒体のものを管理、運用の対象とします。電子データによる各種シート等の作成、保管も可能としますが、個人情報に関するデータですので、情報セキュリティは確実に確保してください。

また、いずれの場合も、その内容は個人情報ですので、当該支援機関に適用される個人情報保護関係法令に反することがないように十分留意のうえ管理してください。

■ 引継

・次の支援機関へ引継ぐ場合は、個人情報保護関係法令にのっとり、必ず保護者の同意を得たものについて、引継ぎます。

各市町のルールに従って、引継ぎ元と引継ぎ先の機関で、引継ぎの時期や方法など、あらかじめ協議し、ファイルを引継ぎます。個人情報の提供および取得となりますので、個人情報保護にかかる規定に十分留意のうえ行ってください。

■ 支援を要しなくなった場合または町外に転居等するとき

・ファイルの活用による支援が必要なくなった場合には、本人または保護者にファイルを渡し、生育・発達の記録として、家庭で保管するように伝えてください。

その後、必要に応じて、このファイルを提示することによって、本人の特性に応じた配慮を依頼できる場面が発生する可能性もあります。また、幼少の頃に受けた支援の内容や本人の状況について、大人になってから記録が必要となる場合もありますので、なくさないよう大切に保管することを促しましょう。

基礎調査票および評価シートの使い方

●基礎調査票および評価シートのねらい

日常生活をサポートするために、本人の行動や状況を把握するのがねらいです。使用する基礎調査票および評価シートは本人の年齢に応じ、下記を参照して使用してください。

- 1歳6か月～3歳未満……………1歳6か月児用
- 3歳～4歳未満……………3歳児用
- 4歳～6歳(就学前)……………幼児期用
- 小学生～中学生……………学齢期用
- 高校生～成人……………青年・成人用

●実施する人、とき

本人をよく知っている大人が記入します。保護者や先生などが最適です。複数の人が相談して記入し、多面的に検討することもできます。1回だけではなく、子どもの成長にともなって適宜実施してもよいでしょう。対応の効果をみるため比較検討することができます。

●結果が気になるとき

この基礎調査票は、本人の能力や発達にあわせ支援を行うためのものです。発達障がい診断をするものではありません。ただし、結果が気になるときは専門機関に相談をしたほうがよいでしょう。

I-1		あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
人 と の か か わ り ・ 社 会 性	1 話しかけても視線が合わない	1	2	3	4
	2 名前を呼んでも反応しない(振り向き、立ち止まるなど)	1	2	3	4
	3 気持ちが通わないように感じる時がある	1	2	3	4
	4 ほかに子どもや周囲に関心を示さない	1	2	3	4
	5 ひとり遊びが多い	1	2	3	4
	6 ハイハイなどしてもまわらない(手のひらが逆のハイハイだったりする)	1	2	3	4
合計:		平均点:			

① 設問にあてはまる答えを選び、○をつけてください。答えにくいものは、とばしてかまいません。ただし、あまり答えられない質問が多い場合は、その子をよく知っている人に記入してもらいましょう。

② ○をつけた数字の点数を合計します。

③ 記入した設問数で合計点数を割り、平均点を

I-2		あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力	1 言葉が通いと思う(ソソクン、ママなど意味のある単語が少ししか出てこない)	1	2	3	4
	2 母親が「ほら見てごらん」と指をさしても、その方向をしない	1	2	3	4
	3 「わんわんどこ?」などと尋ねても指ささない	1	2	3	4
	4 欲しいものがあるでも、自分から指さして要求しない	1	2	3	4
	5 気づいたことを大人に知らせるときに顔を凝らして指さしたりしない	1	2	3	4
合計:		平均点:			

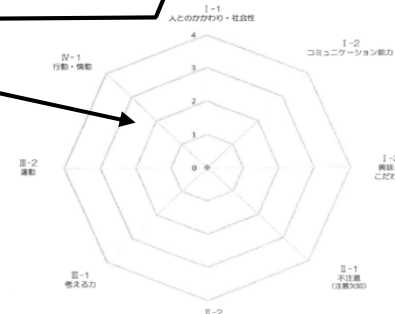
評価シート 1歳6か月児用

記入日	年 月 日	I-1 人のかかわり・社会性	
名前		I-2 コミュニケーション能力	
性別	男・女	I-3 興味とこだわり	
年齢	歳 か月	II-1 平足順(注:履欠加)	
記入者	親・他	III-2 多動性	
		III-1 考える力	
		IV-2 運動	
		IV-1 行動・情緒	

④ 日付や名前などを記入します。

⑤ ③の平均点を転記します。

⑥ 表の数字をグラフに記入します。グラフの結果と設問の各項目を見比べると、全体が読み取れ、今後の対応策が立てやすくなります。



基礎調査票および評価シートの特徴

- 一般向け
特殊な知識や専門性を必要とせず、子どもをよく知っている人なら記入可能
- 共通理解
子どもの状況の客観的・総合的な把握、ほかの子どもとの比較が容易
- 実施が容易
子どもに負担をかけずに評価可能
- 客観性
複数の人による記入・比較によりの確性・客観性向上が可能
- 多面的
保護者と先生が記入することで、家庭と園での様子の違いを把握可能
- 時間的変化
改善や悪化などの変化を見える形で記録していくことが可能

ファイルおよび基礎調査票使用上の注意事項

- (1) 基礎調査票は特性を把握し支援を考えるためのツールであり、発達障がいであるかどうかを判断するためのものではありません。具体的な支援方法を考えるために引用文献を参照してください(引用文献は裏表紙に記載)。
- (2) 個人情報の保護については、個人情報保護法および各取扱い団体等における個人情報保護関連の規定に沿って、適切に扱きましょう。特に情報の漏えい防止には十分注意する必要があります。

プロフィール編

プロフィールシート

記入日： 年 月 日

(フリガナ) 名前	年齢	性別 男・女
	生年月日 年 月 日	血液型
住所 〒 _____ 駐在区 _____ 土幌町字 _____	電話 () - () - () -	

<家族構成>

	氏名	続柄	勤務先・学校名	連絡先	緊急連絡の優先順位
①		同居・別居			
②		同居・別居			
③		同居・別居			
④		同居・別居			
⑤		同居・別居			
⑥		同居・別居			
⑦		同居・別居			
⑧		同居・別居			

<かかりつけ医>

病院 _____ 科 担当Dr. _____ TEL () - _____
病院 _____ 科 担当Dr. _____ TEL () - _____
病院 _____ 科 担当Dr. _____ TEL () - _____

<出生時の記録>

◆妊娠中にあったこと

- ・妊娠中毒症 ・貧血 ・切迫流産 ・切迫早産 ・不正出血 ・感染症 ・薬物服用
- ・放射線検査 ・事故 ・病気 ・喫煙 ・アルコール常用 ・強度の身体的疲労
- ・強度の精神的疲労 ・胎児の心拍微弱 ・胎児の発育不良 ・羊水過多 ・特になし
- ・その他()

◆在胎週数

週 日

◆出産時の両親の年齢

父 歳 母 歳

◆出産した医療機関(主治医)

病院 Dr. ()

◆出産の様式

- ・正常分娩 ・帝王切開 ・吸引分娩 ・鉗子分娩 ・誘発分娩
- ・その他()

◆分娩時にあったこと

- ・多児 ・逆子 ・首に臍帯が絡んでいた ・出血が多かった ・特になし
- ・その他()

◆出生時の体重など

体重	g
身長	cm
頭囲	cm

◆アプガースコア

1分時 点
5分時 点

◆出生時の状態について

- ・仮死だった ・泣かなかつた ・保育器に入った ・黄疸あり(光線療法:有・無)
- ・哺乳力が弱かつた ・よくミルクを吐いた ・その他()

<診断の記録>

診断名	医療機関	診断年月日	診断内容

<特に気がかりな病気や疾病の状況> (過去にかかった感染症など)

◆過去にかかった感染症

・麻疹 _____ 歳ごろ	・風疹 _____ 歳ごろ	・流行性耳下腺炎 _____ 歳ごろ	
・水痘 _____ 歳ごろ	・百日咳 _____ 歳ごろ	・溶連菌感染症 _____ 歳ごろ	
・その他 (_____) _____ 歳ごろ			

診断名、診断時期	医療機関	症状	治療、生活管理
病名: 年 月 ~ 年 月			
病名: 年 月 ~ 年 月			
病名: 年 月 ~ 年 月			
病名: 年 月 ~ 年 月			

<月経>

初潮	小・中・高 年生	月 ~	周期	順・不順	量	多・普通・少
月経中のケア						

<保存しておく必要のある薬の記録>

薬名	病院名	薬の量	効能、服用の仕方	服用開始時期など

資料を添付して下さい(病院からの処方箋など)

薬品名/主な作用	使用上の注意
薬剤名 : 処方期間: 年 月~	
薬剤名 : 処方期間: 年 月~	

|

|

<福祉サービス利用の記録>

サービスの種類	期間	支給量・利用量	サービス事業所

<その他関係機関>

関係機関名	備考

<諸手当、年金など>

手当名称	等級など	支給額など	備考

<資格、免許など> (英検やタイピングなどの資格、その他免許等を記載)

資格等名称	等級など	取得日	備考

<障害者手帳など> (該当の場合は該当欄に○を、該当しない物は×を記載してください)

該当	手帳の種類	障害等級	交付日	備考 (Noや次回更新日など)
	身体障害者 手帳	____級 視覚・聴覚・肢体・内部 その他()	年 月 日	
	療育手帳		年 月 日	
			年 月 日	

<受診歴、相談歴>

日時	医療機関、相談機関	受診・相談理由	経過・検査の結果・注意事項	担当者
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				
年月				

<保育、教育歴>

学年	園・学校名	担任名	学び方 (通級指導等、特別支援学級他、個別的な配慮点を記入)

支援・引継編

引用文献: 黒澤礼子 著「赤ちゃんから大人まで気づいて・育てる発達障害の完全ガイド 総合版」講談社
(基礎調査票、評価シート、発達状況シート)

評価シート 1歳6か月児用

記入日 年 月 日

名前

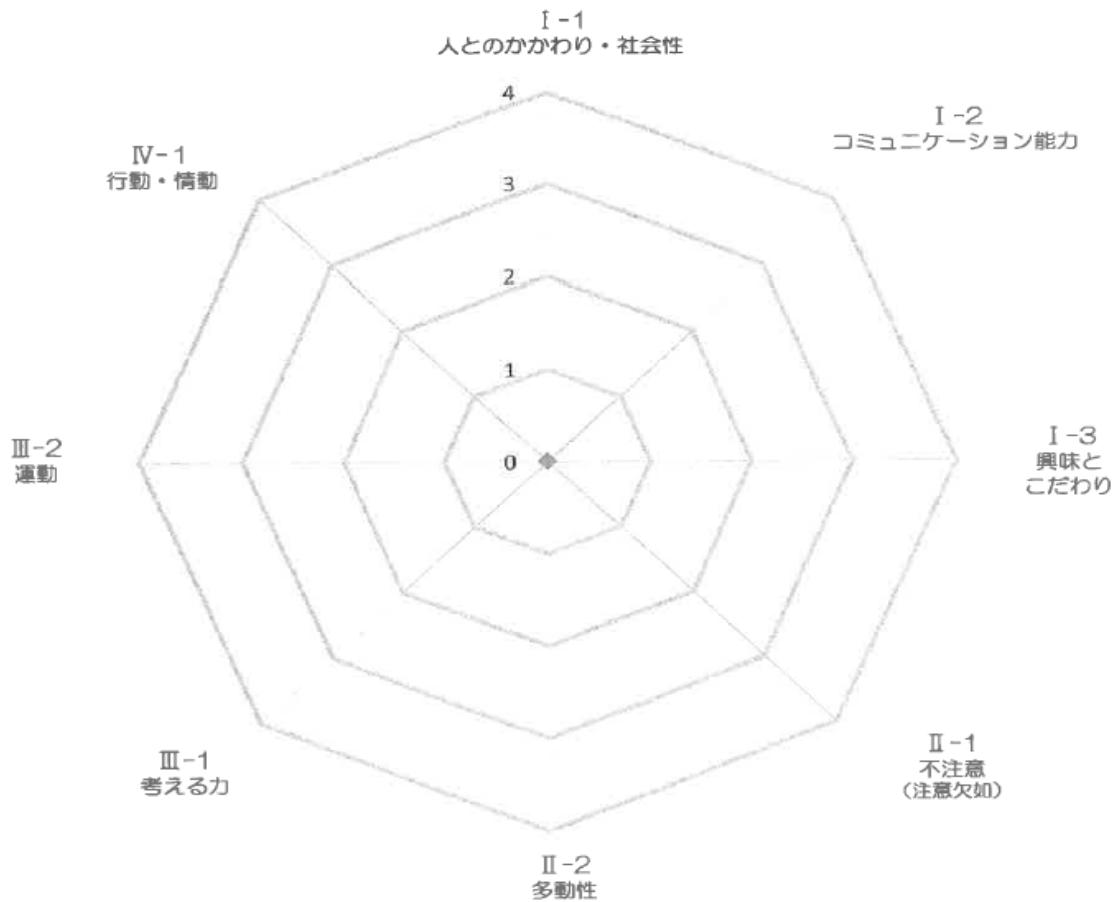
性別 男・女

年齢 歳 か月

記入者 親・他

()

I-1 人とのかかわり・社会性	
I-2 コミュニケーション能力	
I-3 興味とこだわり	
II-1 不注意(注意欠如)	
II-2 多動性	
III-1 考える力	
III-2 運動	
IV-1 行動・情動	



発 達 状 況 シ ー ト

記入日 【 年 月 日 】 記入機関・記入者 【 】			
発 達 状 況	I-1	人とのかかわり・ 社会性	
	I-2	コミュニケーション 能力	
	I-3	興味とこだわり	
	II-1	不注意 (注意欠如)	
	II-2	多動性 衝動性	
	III-1	考える力	
	III-2	運動	
	IV-1	行動・情動	
	得意・好きなこと		
	苦手・嫌いなこと		
	身体(発達、健康)		
	【エピソード・支援方法等】		

評価シート 3歳児用

記入日 年 月 日

名前

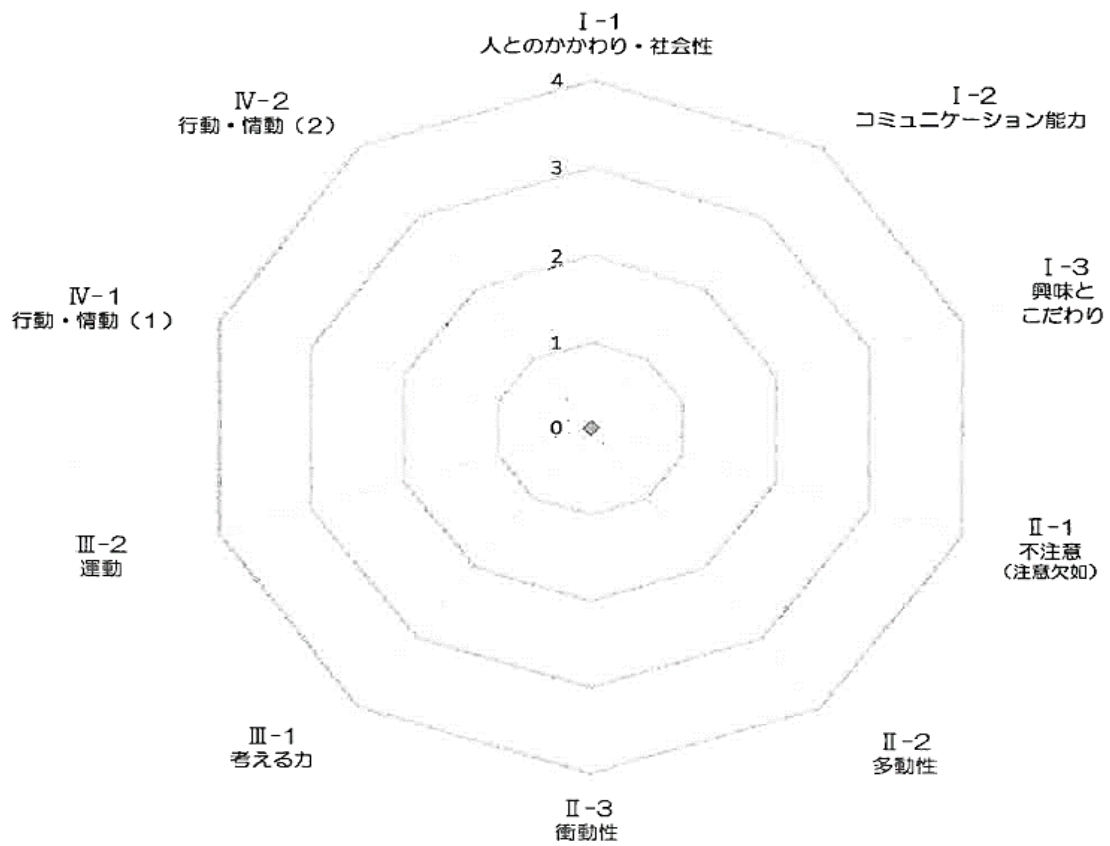
性別 男・女

年齢 歳 か月

記入者 親・他

()

I-1 人のかかわり・社会性	
I-2 コミュニケーション能力	
I-3 興味とこだわり	
II-1 不注意(注意欠如)	
II-2 多動性	
II-3 衝動性	
III-1 考える力	
III-2 運動	
IV-1 行動・情動(1)	
IV-2 行動・情動(2)	



発達状況シート

記入日 【 年 月 日 】 記入機関・記入者 【 】			
発達 状 況	I-1	人とのかかわり・ 社会性	
	I-2	コミュニケーション 能力	
	I-3	興味とこだわり	
	II-1	不注意 (注意欠如)	
	II-2 II-3	多動性 衝動性	
	III-1	考える力	
	III-2	運動	
	IV	行動・情動	
		問題行動が起きないとき 得意・好きなこと	
		問題行動が起きるとき 苦手・嫌いなこと	
		知的障害の有無 身体(発育、健康)	
	【エピソード・支援方法等】		

評価シート 幼児期用

記入日 年 月 日

名前

性別 男・女

こども園・保育所(園)・その他

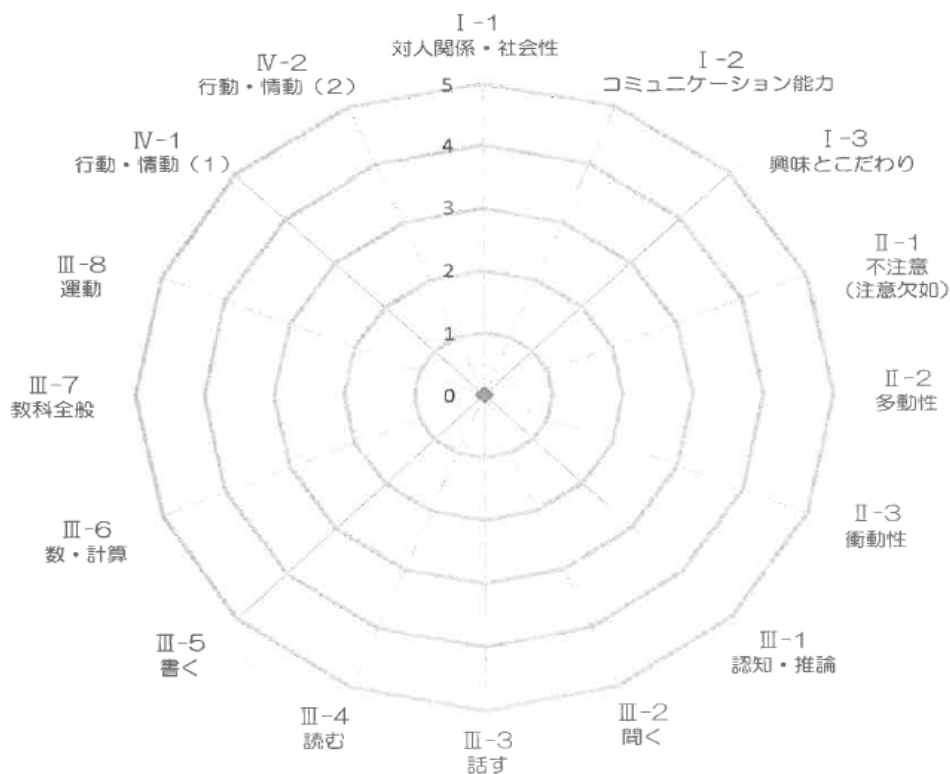
年長・年中・年少

年齢 歳 か月

記入者 担任・親・他

()

I-1 人のかかわり・社会性	
I-2 コミュニケーション能力	
I-3 興味とこだわり	
II-1 不注意(注意欠如)	
II-2 多動性	
II-3 衝動性	
III-1 考える力	
III-2 聞く	
III-3 話す	
III-4 絵	
III-5 運動	
IV-1 行動・情動(1)	
IV-2 行動・情動(2)	
IV-3 生活習慣・その他	



発 達 状 況 シ ー ト

発 達 状 況	記入日 【 年 月 日 】 記入機関・記入者 【 】	
	I-1	人とのかかわり・ 社会性
	I-2	コミュニケーション 能力
	I-3	興味とこだわり
	II-1	不注意 (注意欠如)
	II-2 II-3	多動性 衝動性
	III	考える力・聞く・ 話す・絵・運動
	IV	行動・情動・ 生活習慣・その他
	問題行動が起きないとき 得意・好きなこと	
	問題行動が起きるとき 苦手・嫌いなこと	
	知的障害の有無 身体(発育、健康)	
	【エピソード・支援方法等】	

評価シート 学齢期用

記入日 年 月 日

名前

性別 男・女

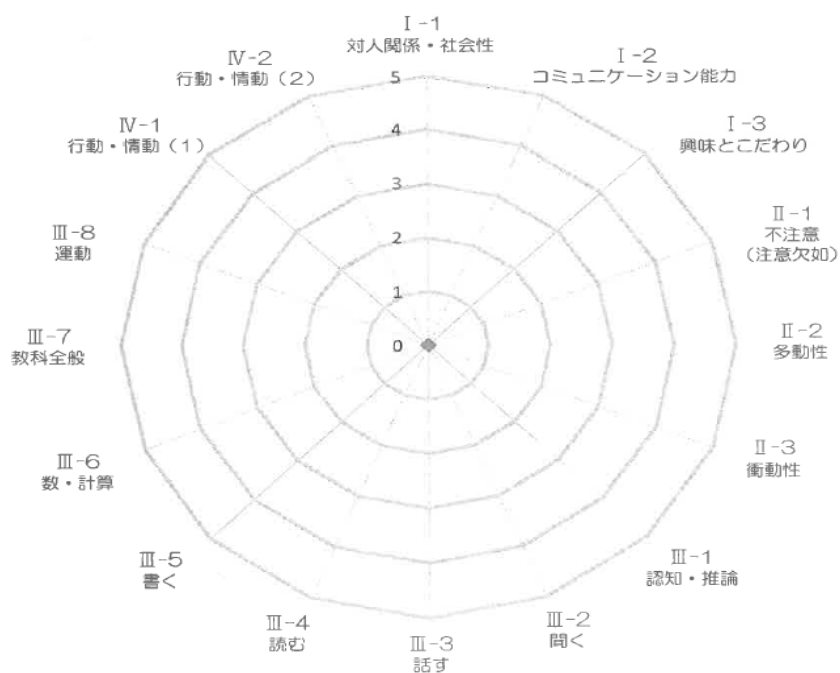
年齢 歳

学年

記入者 担任・親・他

()

I-1 対人関係・社会性	
I-2 コミュニケーション能力	
I-3 興味とこだわり	
II-1 不注意(注意欠如)	
II-2 多動性	
II-3 衝動性	
III-1 認知・推論	
III-2 聞く	
III-3 話す	
III-4 読む	
III-5 書く	
III-6 数・計算	
III-7 教科全般	
III-8 運動	
IV-1 行動・情動(1)	
IV-2 行動・情動(2)	



発 達 状 況 シ ー ト

発 達 状 況	記入日 【 年 月 日 】 記入機関・記入者 【 】	
	I-1	対人関係・社会性
	I-2	コミュニケーション 能力
	I-3	興味とこだわり
	II-1	不注意 (注意欠如)
	II-2 II-3	多動性 衝動性
	III	認知・推論・ 学習面・運動面
	IV	行動・情動
	問題行動が起きないとき 得意・好きなこと	
	問題行動が起きるとき 苦手・嫌いなこと	
	知的障害の有無 身体(健康など)	
	【エピソード・支援方法等】	

評価シート 青年・成人用

記入日 年 月 日

名前

性別 男・女

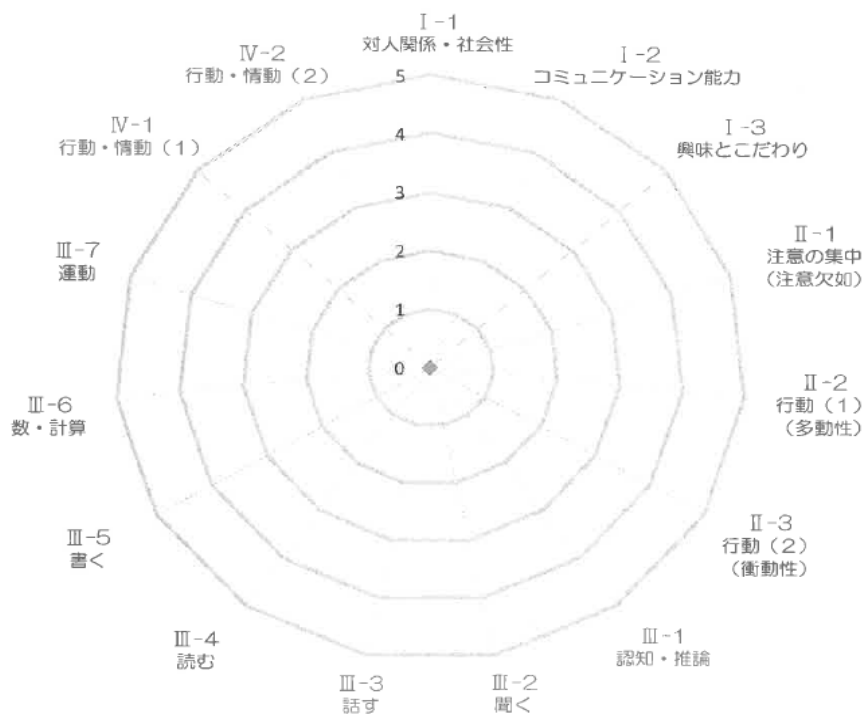
年齢 歳

学年

記入者 本人・親・他

()

I-1 対人関係・社会性	
I-2 コミュニケーション能力	
I-3 興味とこだわり	
II-1 注意の集中(注意欠如)	
II-2 行動(1)(多動性)	
II-3 行動(2)(衝動性)	
III-1 認知・推論	
III-2 聞く	
III-3 話す	
III-4 読む	
III-5 書く	
III-6 数・計算	
III-7 運動	
IV-1 行動・情動(1)	
IV-2 行動・情動(2)	



発 達 状 況 シ ー ト

発 達 状 況	記入日 【 年 月 日 】 記入機関・記入者 【 】	
	I-1	対人関係・社会性
	I-2	コミュニケーション能力
	I-3	興味とこだわり
	II-1	注意の集中 (注意欠如)
	II-2 II-3	行動(1)(多動性) 行動(2)(衝動性)
	III	認知・推論・ 学習面・運動面
	IV	行動・情動
	問題行動が起きないとき 得意・好きなこと	
	問題行動が起きるとき 苦手・嫌いなこと	
	知的障害の有無 身体(健康など)	
	【エピソード・支援方法等】	